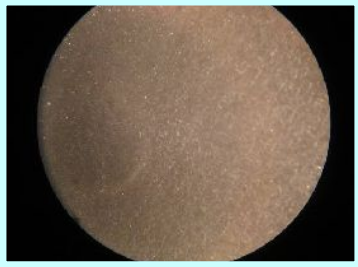
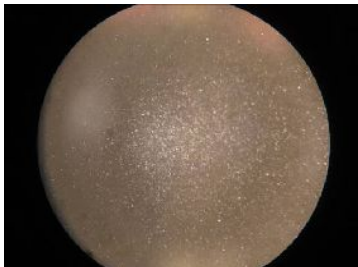
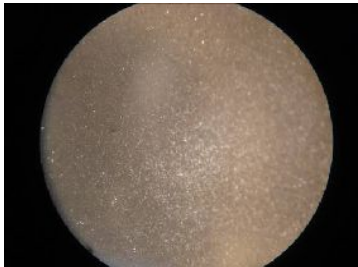

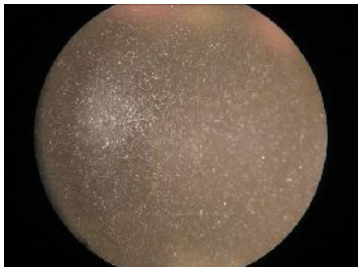
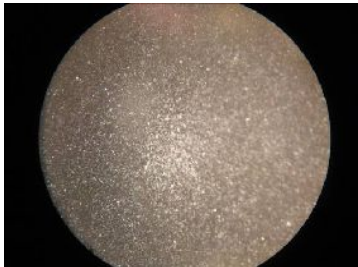


## イブプロフェン+パーフィラー101高打圧打錠試験

目的	EIP杵による滑沢剤を含有しない錠剤の製作を検討する。
使用薬剤	イブプロフェン-50%、パーフィラー101-50% パーフィラー101成分（ヒドロキシプロピルスターチ約60%、合成ケイ酸アルミニウム約20%、結晶セルロース約20%）
使用杵	EIP、鏡面+CrN、鏡面+HCr 以上3種類の上下の杵
錠剤硬度	50-60N
打錠時間	30rpmで1時間程度行った。
打圧	本圧上ロール:710kgf 本圧下ロール:680kgf 予圧上ロール:20kgf 予圧下ロール:50kgf 押上圧力:7kgf
試験方法	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して高打圧にて打錠する。 ②打錠時間を均一に設定して打錠する。 ③打錠後、顕微鏡にて杵打錠面を観察する。

### 試験結果

上杵	 <p style="text-align: center;">EIP</p>	 <p style="text-align: center;">鏡面+CrN</p>	 <p style="text-align: center;">鏡面+HCr</p>	<p>EIP: 付着が発生しなかった。 鏡面+CrN: 中心部に薄い曇りが発生した。 鏡面+HCr: 中心部に薄い曇りが発生した。</p>
下杵	 <p style="text-align: center;">EIP</p>	 <p style="text-align: center;">鏡面+CrN</p>	 <p style="text-align: center;">鏡面+HCr</p>	

以上の結果から、EIP杵でステアリン酸マグネシウムを含有しない、イブプロフェン+パーフィラー101の粉体を高打圧で打錠できることが判明した。